

めざす法曹像の別による履修モデルの例（2023 年度入学者の例）

		1 年次		2 年次		3 年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
全員が履修する科目	必修・選択必修科目	●憲法基礎Ⅰ ●行政法基礎Ⅰ ●民法基礎Ⅰ ●民法基礎Ⅱ ●民法基礎Ⅲ ●民法基礎Ⅳ ●刑法基礎Ⅰ		●憲法基礎Ⅱ ●行政法基礎Ⅱ ●民法基礎Ⅴ ●民法基礎Ⅵ ●商法基礎Ⅰ ●商法基礎Ⅱ ●刑法基礎Ⅱ		●憲法演習 ●行政法演習Ⅰ ●民法演習Ⅰ ●商法演習Ⅰ ●民事訴訟法Ⅰ ●刑法演習Ⅰ ●刑事訴訟法Ⅰ	
	●：必修 ○：選択必修	●民法基礎Ⅱ ●民法基礎Ⅲ ●民法基礎Ⅳ ●刑法基礎Ⅰ		●民法基礎Ⅴ ●民法基礎Ⅵ ●商法基礎Ⅰ ●商法基礎Ⅱ ●刑法基礎Ⅱ		●行政法演習Ⅱ ●民法演習Ⅱ ●商法演習Ⅱ ●民事訴訟法Ⅱ ●刑法演習Ⅱ ●刑事訴訟法Ⅱ	
	実務基礎科目					●民事実務基礎Ⅰ ●民事実務基礎Ⅱ ●刑事実務基礎 ○エクスターンシップ	
						●法曹倫理 ○ロイヤリング ○模擬裁判（民事）	
	基礎・隣接科目	現代世界の政治				比較法Ⅰ 比較法Ⅲ	比較法Ⅱ
国際的な関心を持ち、専門的知識を有する法曹	展開・先端科目	法制史		国際法Ⅰ 国際私法Ⅰ	国際法Ⅱ 国際私法Ⅱ	国際私法研究 A* 国際法研究Ⅲ* 特別講義演習* （外国法特別演習Ⅰ）	国際私法研究 B* 外国人と法 特別講義演習* （外国法特別演習Ⅱ） 比較民事法総合 特別講義演習* （法整備支援論演習） 法整備支援論 総合問題演習 （刑事法）（通年）**
	法律基本科目（選択）	実定法基礎Ⅰ	実定法基礎Ⅱ			総合問題演習（民事法） 総合問題演習（公法）	
企業法務に重点を置きつつ、ホームドクターとしてのサービスも十分に扱える、バランスの取れた法曹	基礎・隣接科目		法哲学			比較法Ⅰ 比較法Ⅲ	比較法Ⅱ
	展開・先端科目			知的財産法Ⅰ 経済法Ⅰ 倒産法Ⅰ	知的財産法Ⅱ 経済法Ⅱ 倒産法Ⅱ	倒産法演習 経済法研究 A* 民事訴訟法特殊研究 A* 金融法	経済法研究 B* 民事訴訟法特殊研究 B* ビジネス・プランニング 民事執行・保全法 医療と法
	法律基本科目（選択）	実定法基礎Ⅰ	実定法基礎Ⅱ			総合問題演習（民事法） 総合問題演習（公法）	総合問題演習（刑事法）（通年）**
ホームドクターとしてのサービスに重点を置きつつ、企業法務も十分に扱える、バランスの取れた法曹	基礎・隣接科目		法哲学			法と心理学	
	展開・先端科目			労働法Ⅰ 租税法Ⅰ 環境法Ⅰ	労働法Ⅱ 租税法Ⅱ 環境法Ⅱ	消費者法 労働法演習 租税法演習 地方自治法	民事執行・保全法 刑事学 社会保障法 比較公共訴訟論 現代刑事司法論
	法律基本科目（選択）	実定法基礎Ⅰ	実定法基礎Ⅱ			総合問題演習（民事法） 総合問題演習（公法）	総合問題演習（刑事法）（通年）**
博士後期課程への進学希望者	基礎・隣接科目	比較法Ⅰ 法制史				比較法Ⅲ	比較法Ⅱ
	展開・先端科目			（後期課程において自身が専攻する領域に関連する科目の選択） （総合法政専攻で開講されている科目*の選択）		テーマ研究Ⅰ	先端分野総合研究 テーマ研究Ⅱ

*印は、総合法政専攻で開講されている科目

法学既修者（2年コース）の場合

1年次での履修が、上記の表の「2年次」の履修科目に相応する。

また、上記の表の「1年次」と「3年次」の履修科目のなかから適宜選択をして、2年次に履修をする。

**印は、春・秋学期ともに開講されている科目（レイアウト上の理由で秋学期欄に記載）